

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 先進理学療法コース・先進作業療法コース

No	科目名称	学年	単位	科目概要
1	心理学	1	1	<p>〈心理学〉を学べば人の心が読めるようになると思う人もいますが、人の〈心〉そのものは目に見えず、なかなか捉えにくいものです。心理学は、〈心〉がさまざまな〈行動の仕方〉や〈反応〉として表れるのを観察、調査、実験のデータ等に基づいて科学的に分析し、人間の情報処理に関するメカニズムや反応・行動のパターンなどの法則性を見いだそうとする学問です。</p> <p>本講義では、皆さんの日常生活から医療現場への応用までを視野に入れ、人間関係や患者心理の理解の基礎となる、知覚、認知、学習、記憶、適応、発達、個性差といった一般的な心理機能に関する基礎的知識を習得し、自己および他者の心理について理解を深めることを目標に講義を進めます。</p> <p>なお、医療機関等において心理師としての実務経験を有する教員が授業を担当します。</p> <p>タブレット端末を活用した授業を実施する。</p>
2	スポーツ・健康科学	1	1	<p>医療従事者になることへの意識づけとして、他者との情報共有や確認作業、相互理解を図るための手段であるコミュニケーション能力をチームスポーツを通して身につけることを目的とする。また、障がい者スポーツやユニバーサルスポーツを体験することにより、障がいの有無や年齢に関係なく、誰でも参加できるスポーツの意義や特性を学び、理解を深める。</p> <p>本授業では、チームスポーツにおける戦術のためのグループディスカッションや障がい者スポーツの経験により、自己表現ならびに相互理解能力を育てるとともに健康科学的見地から自己の体力評価し、将来の健康デザインを展望する初年次教育を行う。中等教育機関での保健体育科の実務経験を有する教員が実践的な生涯・障がいスポーツについて授業を行う。</p>
3	レクリエーション論	1	1	<p>医療・保健・福祉の中で活用されるレクリエーションについて、概念と意義を学ぶ。対象者に合わせたレクリエーションプログラムの立案方法や運営について学ぶ。</p> <p>本科目は病院などで作業療法士の実務経験を有する教員が講義を行う。</p>
4	初年次教育基礎演習	1	1	<p>初年次教育の一環として、大学の学びへの円滑な移行を図り、人格的成長と学修効果を高めるために必要となるスタディスキル、スチューデントスキル、アカデミックスキルを講義と演習を交えながら学修する。特に、人を助ける医療従事者としての基本である礼儀・マナー・挨拶などの社会的な心構えや他者を思いやる円滑なコミュニケーション力を重視し、教養や情報リテラシー、スキルを身につける能動的な姿勢を育む科目である。主に、アクティブラーニングを用いて、自ら学ぶ姿勢、学び方、他者交流における共感や協調、コミュニケーション技能を学修する。なお、本大学病院リハビリテーション部において理学療法士・作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p>
5	解剖学 1	1	1	<p>人体の基本的構造を知ることが医学を学ぶ上において不可欠である。また、理学療法士・作業療法士を目指す上で骨、関節、筋肉そして神経の構造と機能を学ぶことは大変重要である。解剖学 1 では、上肢並びに体幹部の骨、関節、筋肉の形態と機能を中心に講義する。</p> <p>さらに、リハビリテーション医学・医療を学ぶにあたって必要となる解剖学用語を習得する。本科目は、死体解剖資格を有し、解剖学実習の実務経験を有する教員が担当し、その実務経験を講義に含み、人体の基本構造を立体的に概説する。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向性型授業を実施する。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 先進理学療法コース・先進作業療法コース

No	科目名称	学年	単位	科目概要
6	解剖学 2	1	1	<p>人体の基本的構造を知することは医学を学ぶ上において不可欠である。また、理学療法士・作業療法士を目指す上で骨、関節、筋肉そして神経の構造と機能を学ぶことは大変重要である。解剖学 2 では下肢並びに頭頸部の骨、関節、筋肉の形態と機能を中心に講義する。</p> <p>さらに、リハビリテーション医学・医療を学ぶにあたって必要となる解剖学用語を習得する。本科目は、解剖学実習の実務経験を有する教員が担当し、その実務経験を講義に含み、人体の基本構造を立体的に概説する。本科目は、死体解剖資格を有し、解剖学実習の実務経験を有する教員が担当し、その実務経験を講義に含み、人体の基本構造を立体的に概説する。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向性型授業を実施する。</p>
7	運動生理学	1	1	<p>静的状態の身体機能を扱う生理学に対して、運動生理学は主に運動に対する生理反応を理解する学問である。生体における運動時の反応や運動に対する適応の機序は、生体の機能的・構造的特徴に基づき筋・神経・呼吸・循環器、体温等を概説できるようにする。また、各疾患における運動の影響・効果に関して講義を行う。リハビリテーションの臨床において、病態理解やリハビリテーション介入戦略の理解につながる基礎的知識を修得する。大学病院での理学療法の実務経験を有する教員が、実践的な種々の生理指標を説明しながら授業を行う。タブレット端末を活用し、Moodleを利用した双方向性型授業を実施する。</p>
8	運動学 1	1	1	<p>理学療法・作業療法の大きな目的は、患者の活動障害の改善です。</p> <p>重力の働く地球環境下で皆さんは活動課題（寝返り、起き上がり、座位保持、立ち上がり、歩行そして日常生活活動）を達成しています。患者さんにとって、これらの活動課題が難しいのは、何故でしょうか。</p> <p>運動（活動）を関節の動き、それを作り出す筋活動や重力、そして制御する神経系も含め、ヒトの動きがどのように達成されるのかを皆さんの身体を使ったり、患者事例を紹介したりしながら説明します。</p> <p>なお、本科目は、急性期、回復期、生活期および緩和ケア病棟における理学療法の実務経験を有する教員が、臨床経験を活かし、実践的・具体的な例を示しながら授業を行います。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向性型授業を実施します。対面にて講義を実施します。</p>
9	運動学 2	1	1	<p>理学療法・作業療法の目的は、患者の活動障害の改善である。</p> <p>1Gの地球環境下で皆さんは活動課題（寝返り、起き上がり、座位保持、立ち上がり、歩行そして日常生活活動）を達成している。患者さんにとって、これらの活動課題が難しいのは、何故なのか。</p> <p>運動（活動）を関節の動き、それを作り出す筋活動や重力、そして制御する神経系も含め、ヒトの動きがどのように達成され学習されるのかを患者事例を含めて説明する。</p> <p>なお、本大学リハビリテーション部において実務経験を有する教員が授業を行う。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向性型授業を遠隔授業で実施する。</p> <p>今年度、対面にて講義を実施します。</p>
10	人間発達学	1	1	<p>ヒトの発達について学習する。</p> <p>脳性麻痺を中心とした発達障害の概念を知り、その評価および治療について説明する。</p> <p>発達に関連する小児疾患とその治療およびリハビリテーションについて説明する。</p> <p>本大学病院リハビリテーション科の診療に携わる医師の実務経験を活かし小児リハビリテーションについて授業を行う。タブレット端末等を活用し、双方向での講義を行う。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 先進理学療法コース・先進作業療法コース

No	科目名称	学年	単位	科目概要
11	病理学	1	1	<p>病理学は疾病の原因、発症の機序、病変の広がり、結果が生体に及ぼす影響等を説明、説明する学問である。</p> <p>例えば癌とは何であるのか、何故発生するのか、発生した場合に人体にどのような現象が生じるのか等を講義する。</p> <p>理学療法士、作業療法士として知っておく必要のある病態、疾患について講義を進め、最後には実際の症例を用いた演習を行い、その中で学生がプレゼンテーションを行う。</p> <p>タブレット端末による授業資料の配信やスマートフォンによるクリッカーを活用した双方向型授業を実施する。</p> <p>本大学病院における病理診断の実務経験を有する医師教員が疾病に関する豊富な経験を元にした、より実践的な授業を行う。</p>
12	臨床心理学	1	1	<p>人は生きていく中で様々な問題にぶつかる。すぐに解決できる問題もあれば自分だけでは思うように解決に至らない問題もある。</p> <p>臨床心理学は、そういった個々が抱える問題とどう向き合うか、問題を抱えながらどう生きていくかなど、心理的な問題の解決や改善援助を目標としている。</p> <p>この講義では、心理臨床の理論、検査、技術などを用いて「こころ」の問題を測定、理解し、介入援助を行う方法について概説し、臨床心理学の基礎的知識の習得を目標とする。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向型授業を実施する。</p> <p>医療機関等において心理師としての実務経験を有する教員が授業を行う。</p>
13	老年学	1	1	<p>人口の高齢化、老年学と老年医学の概念、老化と老化学説、高齢者の精神・身体機能の低下、高齢者の病態と疾患の一般的特徴、高齢者によく見られる症候、老年病、高齢者の栄養、高齢者薬物療法、老年医学的総合機能評価（CGA）、終末期医療と医療倫理について講義する。</p> <p>なお、本大学病院において医師の実務経験を有する教員が授業を行い、療法士が臨床で必要となる知識を解説する。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向型授業を実施し、毎回の講義において適宜理解度を確認するための確認問題をMoodleにて用いて実施し、理解度に応じた解説を行う。</p> <p>今年度、対面にて講義を実施する。</p>
14	基礎情報処理学	1	1	<p>本講義は、情報リテラシー教育として、学修において情報通信技術（ICT）を有効に活用するための能力（情報リテラシー）が身につくよう、また、高等学校から大学教育への円滑な移行を図るための初年次教育として、レポート・論文の執筆能力、表計算ソフトによる情報分析能力、プレゼンテーション技法、オンライン環境でのコミュニケーション能力が身につくよう、講義・演習を行う。</p> <p>より具体的には、e-learningプラットフォーム（Moodle）を活用した双方向型授業により、コンピュータやネットワーク・電子メールの仕組みと利用方法、文書作成ソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの使い方などについて講義し、多様な情報の収集能力・分析能力、レポート作成やプレゼンテーション資料作成など情報のアウトプットに関するデータリテラシー能力が身につくよう、あわせて演習を行う。</p> <p>本科目は、初年次教育、ICT活用、情報リテラシー教育の一部を担う。</p> <p>実務経験を有する理学療法士が講義・演習を一部担当する。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 先進理学療法コース・先進作業療法コース

No	科目名称	学年	単位	科目概要
15	医用情報処理学	1	1	<p>現在進行中の社会変化（第4次産業革命によって導かれるSociety 5.0）は、われわれの生活のみならずリハビリテーションやヘルスケアなどの臨床領域にも及んでいる。そこで本科目は、社会や臨床で活用されている情報や模擬データを用いて、データ駆動型社会の基盤となるデータサイエンスとAIの活用について学修する。</p> <p>より具体的には、データの収集や編集を行うデータベースの活用、データベースからの情報抽出、抽出したデータの処理、および統計学的な検討方法、さらにはAI技術の根幹となる回帰、相関、機械学習の概念を学修する。また、臨床や社会で収集されたデータの誤差やばらつきについて、収集方法やデータ記録方法、個人差という視点を学び、統計学的な情報処理の意義を理解する。</p> <p>本科目はICT（e-learningプラットフォーム Moodle）を活用した双方向型授業を行う。</p> <p>本科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）、情報リテラシー教育の一部を担う。</p> <p>実務経験を有する理学療法士が講義・演習を一部担当する。</p>
16	社会福祉学	1	1	<p>社会福祉は、生活上なくてはならない社会制度を背景とした対人相談援助であり、主に社会的弱者を対象とする。リハビリテーションとのつながりも深く、保健・医療・福祉領域では専門職の連携協働が求められる。本講義の目的は、社会福祉における概念、歴史、制度、課題および相談援助の考え方について学び、ソーシャルワーカーなど社会福祉専門職の役割を理解すること、さらに、リハビリテーション専門職としての認識を高めることである。また、相談援助技術について学ぶことにより、リハビリテーションに従事する上で必要な分析技法を身につけるための一歩となる講義内容を含んでいる。</p> <p>理学療法士の実務経験を有する教員が臨床における社会福祉に関わる経験を述べながら講義を行う。さらに講義の一部は障害者福祉施設に勤務する障害当事者および高齢者福祉施設の相談員が講義を行う。</p> <p>この講義ではICTを活用し、タブレット端末を使用した双方向授業を実施する。</p> <p>この講義では、初年度教育として提出物の期限遵守をサポートし、その成果を評価する。</p>
17	社会保障制度論	1	1	<p>将来、社会課題を解決することができる保健・医療・福祉の専門職の一員となるために、すべての国民の生活を保障するための制度である「社会保障」、および国民の生活の確保と安定を目的とした「社会保障制度」について講義する。具体的に、地域包括ケア、地域共生社会、男女共同参画社会、社会保障と財政の均衡、途上国の公衆衛生といった国民的課題、動向について、学生が見識を広める機会とする。本学教員と外部の第一線の有識者や実践者である外部講師を交えて授業を実施する。授業への積極的な参加を通じ、よく考え、意見表明、質問がなされることを期待する。</p> <p>授業を行うのは、本大学病院リハビリテーション部など複数の病院施設や居宅介護支援事業所や地域包括支援センターにおいて理学療法士として地域の社会福祉業務の実務経験を有する教員である。講義中の重要な単元において、理解度を確認するための確認問題と解説を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 先進理学療法コース・先進作業療法コース

No	科目名称	学年	単位	科目概要
18	基礎臨床見学実習	1	1	<p>病院（あるいは他の施設）での組織機構を知り、多種多様な専門職に接することを通して、チーム医療やリハビリテーションにおける理学療法士・作業療法士の役割と機能を学び、理学療法士・作業療法士としての資質を考える機会を持つ。</p> <p>藤田医科大学病院の見学、本学大学病院における理学療法士・作業療法士の臨床場面の見学、PBL、報告会を行う。</p> <p>なお、本学大学病院リハビリテーション部において理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の実務経験を有する教員等が担当し、臨床での経験に基づいた説明・解説を加えながら実習を行う。</p>
19	運動学演習	2	1	<p>身体運動に関する実データを中心に多様なデータを分析し、これらを解釈する実践的過程を通じて、データを利活用するための技術、およびデータリテラシーを、タブレット端末を活用した双方向授業を通じて学ぶ。なお、本学大学病院リハビリテーション部において理学療法士の実務経験を有する教員が授業を行い、その実務経験を活かし理学療法士・作業療法士に必要な運動学に関する知識を説明する。</p> <p>本科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）における教育プログラムの一部を担う。</p>
20	整形外科学	2	1	<p>運動器の解剖と機能に対する理解を深め、運動器の疾患、診断、治療法を習得する。この科目では、総論として、運動器の構造と機能、病態生理を解説し、症候、治療について講義する。</p> <p>各論については、運動器疾患を関節ごとに解説する。</p> <p>なお、本学大学病院リハビリテーション科の診療に携わる医師（医学部教員）が授業を担当し、実務経験を活かし理学療法士・作業療法士が臨床上必要となる整形外科の知識を説明する。</p> <p>今年度、対面にて講義を実施する。</p>
21	神経内科学	2	1	<p>神経内科学を神経科学の解剖・生理学に基づいて症候学の視点から解説する。神経疾患に特有の症候と疾患について、その病態生理を解説する。</p> <p>神経疾患の診断に使用される各種検査方法について解説する。</p> <p>本学大学病院においてリハビリテーション科の診療に携わる医師（医学部教員）が授業を担当し、実務経験を活かし理学療法士・作業療法士が臨床上必要となる神経内科の知識を説明する。</p> <p>今年度、対面にて講義を実施する。</p>
22	精神医学	2	1	<p>精神科医療において、リハビリテーションは患者の日常生活や社会生活への復帰に極めて重要な役割を果たして。精神疾患をもつ患者のリハビリテーションを行うには様々な精神疾患を理解し適切に介入することが重要である。</p> <p>本学大学病院において精神神経科の診療に携わる医師（医学部教員）が授業を担当し、実務経験を活かし理学療法士・作業療法士が臨床上必要な精神医学の基礎知識と、その医療応用のための知識を取得させることを目標に講義する。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向型授業を実施する。</p> <p>今年度、対面にて講義を実施する。</p>
23	小児科学	2	1	<p>新生児のみならず、小児全体でも疾病構造は成人と小児では異なる部分も多く、内科とは別に習得すべきものである。また、産科学ともかかわりが深いため、内科学と産科学を併せて理解しておく必要がある。</p> <p>本学大学病院において小児科の診療に携わる医師（医学部教員）が授業を担当し、実務経験を活かし理学療法士・作業療法士が臨床上必要となる小児科学の知識を説明する。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向型授業を実施する。</p> <p>今年度、対面にて講義を実施する。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 先進理学療法コース・先進作業療法コース

No	科目名称	学年	単位	科目概要
24	救急医学	2	1	<p>救急医学とは、予期せず発生したけがや病気に対応するための医療全般を含む領域である。市中のみならず院内でも起こりうる緊急事態に直面した際に、適切な対応によって患者を救急医療の現場に引き継ぐことが求められる。本学大学病院においてリハビリテーション科の診療に携わる医師（医学部教員）が実務経験を活かし、療法室でおこり得る救急疾患を中心に、その概念と対処方法を講義、演習を行う。</p> <p>本年度は対面授業を行う。</p>
25	リハビリテーション情報工学	2	1	<p>データ駆動型社会において情報工学・データサイエンスの活用対象のひとつである医療に関し、特にリハビリテーションに関連の深い技術の変遷について講義する。具体的には、臨床・患者のニーズから生まれたリハビリテーションに関わる工学の歴史をとおり、療法士の工学的な役割について学修する。また、評価技術の変遷をとおり、診断の材料となるデータとして扱われるMRIやCTなどの画像、脳波の情報計測技術や情報処理技術について学修する。様々な患者のデータ分析に活用されつつあるAIについては、初期のトイプロBLEMからエキスパートシステム、および深層強化学習までの変遷と特徴について学修する。最後に、評価や介入手段としての磁気・電気刺激の技術や、リハビリテーションに関わるロボットの技術について学修する。</p> <p>本科目はICT（e-learningプラットフォーム Moodle）を活用した双方向型授業を行う。</p> <p>本科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）、情報リテラシー教育の一部を担う。</p> <p>実務経験を有する理学療法士が講義・演習を一部担当する。</p>
26	コミュニケーション障害学	2	1	<p>コミュニケーションの役割と機能を基に、ヒトと動物におけるコミュニケーションの違いやヒトだけが言語を持つその背景について、解剖学、生理学、音響学、言語学的側面から最近の知見を交えて解説する。また先天的あるいは後天的な問題によって生じるコミュニケーション障害の病態とその対応について理解することを目標とする。</p> <p>本学大学病院リハビリテーション部での言語聴覚士としての実務経験を活かし、理学・作業療法士に必要なコミュニケーション障害に関する知識を説明する。</p> <p>対面授業を基本とする。</p>
27	摂食・嚥下障害学	2	1	<p>食べる・飲み込むは人間が生きて活動するためには欠かせない重要な機能である。高齢化がすすむ本邦において、摂食嚥下障害はリハビリテーション医学の中心的な存在となっている。本講義では摂食嚥下のメカニズムを解剖学、生理学、運動学的側面から最新の知見を交えて解説する。また摂食嚥下障害を引き起こす代表的な疾患である脳卒中後の嚥下障害の病態について理解することを目標とする。本学大学病院リハビリテーション部での言語聴覚士としての実務経験を活かし、理学・作業療法士に必要な摂食・嚥下障害に関する知識を説明する。原則対面授業とする。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 先進理学療法コース・先進作業療法コース

No	科目名称	学年	単位	科目概要
28	研究概論	2	1	<p>科学的根拠に基づいた医療（EBM）に関し、主にリハビリテーション医療においてエビデンスを構築するための科学・研究の重要性と意義、研究デザインやそのエビデンスレベルについての講義を行う。また、文献検索、研究計画の立案、データの処理法と表現法、統計学的検討法、結果の解釈、執筆方法の基礎について学修する。統計学的検定法において適切な検定法が決定されるプロセスについて講義するとともに、様々な臨床研究を想定したデータを用いて具体的な手続きを演習にて習得する。</p> <p>本科目はICT（e-learningプラットフォーム Moodle）を活用した双方向型授業を行う。</p> <p>本科目は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）、情報リテラシー教育の一部を担う。</p> <p>実務経験を有する理学療法士が講義・演習を一部担当する。</p>
29	理学療法概論	2	1	<p>本科目では、理学療法の歴史、定義、理論、プロセス、具体的手段、また理学療法に関わる社会的制度、その他の基本的知識について講義する。毎回の講義において、e-learning（Moodle）を用いて適宜理解度を確認するための課題を実施し、理解度に応じた解説を行う。なお、本大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する理学療法士が授業を担当する。</p>
30	病態運動学	2	1	<p>理学療法の対象となる中枢神経疾患や骨・関節疾患は、姿勢や運動障害との関連において様々な病態を呈する。病態運動学は運動学を基礎として、臨床的な視点から、運動障害と能力低下に焦点を当てながら疾患別に病態の捉えかたを講義する。さらに、理学療法における運動障害の評価や治療、治療効果判定に応用する方法についても講義する。</p> <p>毎回の講義において、e-learning（Moodle）を用いて適宜理解度を確認するための課題を実施し、理解度に応じた解説を行う。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において理学療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p>
31	機能障害学	2	1	<p>本科目では、理学療法の対象となる主要な機能障害について、その発生メカニズム、病態、生理学的背景や特徴について講義する。関節可動域制限、筋力低下、各種組織損傷、運動麻痺、感覚異常、認知機能低下など幅広い機能障害を体系的に取り扱い、各機能障害の特徴の理解を深め、科学的根拠に基づいた評価・治療の理解につなげるように学習する。</p> <p>講義資料は講義資料配信システムにより学生のタブレット端末等に配信する。講義前半および後半終了時には課題としてグループワーク・発表を設け、課題はMoodle上に提出させ、理解度に応じた解説を行う。</p> <p>本大学病院リハビリテーション部での理学療法士/作業療法士の実務経験を活かし、理学療法士/作業療法士に必要な能力を身につけるため、実践的な授業を行う。</p>
32	運動学習理論	2	1	<p>リハビリテーション医療を実践するために運動学習理論の理解は必要不可欠といえる。本科目では、運動学習や運動制御に関わる理論、それを支える生理学的機序、そして学習の主要因子である動機づけ、転移性、行動変化、保持について理解し、効果的な練習方法を考えるための基礎を身につけられるよう授業を行う。なお、本大学病院リハビリテーション部において理学療法士の実務経験を有する教員が担当し、臨床上必要となる運動学習に関する知識を説明する。本科目はタブレット端末を活用した双方向型授業を実施する。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 先進理学療法コース・先進作業療法コース

No	科目名称	学年	単位	科目概要
33	検査・測定論1(理学療法)	2	1	<p>検査・測定論1(理学療法)では、理学療法における評価の目的とその具体的な検査方法について講義を行う。具体的には、理学療法評価総論、医療面接、形態計測、関節可動域測定(ROM-T)、徒手筋力テスト(MMT)を行う。</p> <p>タブレット端末等を用いた双方向授業を行うこともある。講義中には、知識の定着を確認するために小テストを行う。</p> <p>講義は、本大学病院リハビリテーション部などにおいて実務経験を有する理学療法士が担当する。</p>
34	検査・測定論演習1(理学療法)	2	1	<p>検査・測定論演習1(理学療法)では、理学療法評価に必要な手技について、実技を通じて説明する。具体的には、医療面接、形態計測、関節可動域測定(ROM-T)、徒手筋力テスト(MMT)において、OSCEも含めて実際に行う。</p> <p>タブレット端末等を用いた双方向授業を行うこともある。講義中に技術の修得状況を確認するために実技試験を行う。</p> <p>講義は、本大学病院リハビリテーション部などにおいて実務経験を有する理学療法士が担当する。</p>
35	検査・測定論2(理学療法)	2	1	<p>理学療法における評価の目的とその具体的な検査・測定方法について講義を行う。具体的には、整形外科的検査、知覚検査、反射検査、協調性検査、筋緊張検査、片麻痺運動機能検査、高次脳機能検査、脳神経検査、呼吸循環機能検査、レントゲン・CT/MRI・エコー等の画像検査、日常生活活動動作の自立度などについて説明する。一部、学生同士のディスカッションを含む。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において理学療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p>
36	検査・測定論演習2(理学療法)	2	1	<p>循環機能検査・呼吸機能検査・反射検査・知覚検査・筋緊張検査・バランス評価・片麻痺運動機能検査・協調性検査・歩行分析・脳神経検査・高次脳機能検査・画像評価(レントゲン,CT,MRI,超音波画像)について、オリエンテーションの方法や検査手技、記録方法、各検査・測定結果の意味について演習を行う。</p> <p>実技試験を行い手技の修得度を確認する。一部、学生同士のディスカッションを含める。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において理学療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p>
37	客観的臨床能力演習1	2	1	<p>臨床上必要な知識・技術・態度(特に態度)について、講義内容に記された項目について講義・演習する。学生同士の小グループ(模擬患者役、療法士役、実施内容確認役)に分かれ、各自に対し実技試験を実施する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部における理学療法士・作業療法士の実務経験を活かし、理学・作業療法士に必要な能力を身に付けるため、病院・施設等の臨床現場で実施する評価及び治療に関する授業を行う。</p>
38	義肢学	2	1	<p>義肢はリハビリテーションに必要不可欠な治療手段である。様々な義肢が存在し、症例の残存機能、生活様式、要望により選択されるものである。療法士は義肢を障害に対抗するための有力な武器と認識して、詳しい知識を得る必要がある。切断と義肢について詳しく講義する。</p> <p>なお、本大学病院において医師の実務経験を有する教員が授業を行い、療法士が臨床で必要となる知識を解説する。</p> <p>タブレット端末を活用した双方向性型授業を実施し、毎回の講義において適宜理解度を確認するための確認問題をMoodleにて用いて実施し、理解度に応じた解説を行う。本年度は対面授業を行う。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 先進理学療法コース・先進作業療法コース

No	科目名称	学年	単位	科目概要
39	装具学	2	1	<p>装具とは、四肢・体幹の機能障害の軽減を目的として使用する補助具であり、運動器疾患や神経・筋疾患を対象に頻用されている。</p> <p>装具総論では、装具の歴史、分類、目的、装具処方から完成までの流れ、装具に使用される材料について講義し、各論では装着部位分類に従って名称・構造・適応について説明する。</p> <p>本学大学病院リハビリテーション部において理学療法士の実務経験を有する教員が実務経験を活かして、理学療法士に必要な知識を身に付けるために装具について授業を行う。</p>
40	日常生活活動学(理学療法)	2	1	<p>日常生活活動（以下、ADL）の総論を本講義では行う。ADLの概念や評価、ADL動作の特徴理解、動作指導方法、代表的な福祉用具および介助法の基本を学び、臨床応用させる知識を修得する。</p> <p>講義内容の理解度確認のため必要な分野は確認問題と解説を実施する。本学大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する理学療法士が授業を担当する。</p>
41	日常生活活動学演習(理学療法)	2	1	<p>医学的リハビリテーションにおける代表疾患において、障害の有無が日常生活活動動作に与える影響やその特徴を説明する。さらに、日常生活活動動作の改善に向けた補助誘導方法や補助具の選定等について教示及びグループディスカッションを行い、疾患別の日常生活動作練習実践の糸口をつかむ。</p> <p>日常生活活動動作を可能にする車いす、杖などの福祉用具その他自助具につき、疾患に適応した使用方法および指導方法を説明する。また、疾患に応じた住宅環境整備についてグループディスカッションを行う。</p> <p>なお、本学大学病院リハビリテーション部など複数の病院施設において理学療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p>
42	運動療法学	2	1	<p>運動療法は、理学療法の最も大きな柱として位置づけられている。本講義では、関節可動域運動や筋力増強運動をはじめとして、臨床で頻繁に用いられる運動療法について、その基礎となる事柄とともに、治療の原則や基本的な方法を講義する。</p> <p>講義資料は講義資料配信システムにより学生のタブレット端末に配信し、毎回の講義における理解度をMoodleを用いたレポート提出により確認し、理解度に応じた解説を行う。</p> <p>本学大学病院リハビリテーション部での理学療法士の実務経験を活かし、理学療法士/作業療法士に必要な能力を身につけるため、実践的な運動療法について授業を行う。対面形式で実施する。</p>
43	理学療法治療学3－中枢3	2	1	<p>脳内で血管が詰まったり、破裂すると片麻痺を呈します。本講義では脳卒中片麻痺を中心とした中枢神経障害の症状・理学療法の検査・理学療法の対応方法について講義します。さらにデモンストレーションや自身の身体を使って脳卒中片麻痺患者の動作の困難性への理解を深めます。</p> <p>なお、本科目は、急性期、回復期、生活期および緩和ケア病棟における理学療法の実務経験を有する教員が、臨床経験を活かし、実践的・具体的な例を示しながら授業を行います。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 先進理学療法コース・先進作業療法コース

No	科目名称	学年	単位	科目概要
44	理学療法治療学4－整形1	2	1	<p>代表的な整形外科疾患の基本的病態を説明し、理学療法の目的と治療・評価について講義する。</p> <p>具体的には、骨折と脱臼、変形性股・膝関節症、脊椎疾患、高齢者に多い整形外科疾患などを取り上げて、機能解剖学に基づく評価や画像所見（単純X線など）の見方、疾患や症状別の理学療法治療の流れについて講義を行う。</p> <p>タブレット端末等を用いた双方向授業も活用し、講義途中で知識の定着を確認する小テストを行う。</p> <p>本講義は、本大学病院リハビリテーション部において理学療法士の実務経験を有する教員がその経験を活かし、理学療法士が身につけるべき整形外科疾患に関する知識についての講義を行う。</p>
45	理学療法治療学5－整形2	2	1	<p>代表的な整形外科疾患の病態と治療（保存と観血的）を再学習し、その整形外科疾患に対応する理学療法の考え方と、評価・治療の方法を理解し、具体的な治療プログラムを立案できるように講義を行う。また、理解を深めるため、適宜演習を取り入れながら進める。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において理学療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p>
46	理学療法治療学6－スポーツ	2	1	<p>本科目では、スポーツ損傷に対する理学療法の総論や、各スポーツ損傷の発生要因、理学療法評価や治療内容について講義する。また、損傷予防や、損傷の急性期、とくに急性痛に行うべき理学療法についても講義する。加えて、タブレット端末等を用いた双方向授業を行うこともある。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部での理学療法士の実務経験を活かし、スポーツ損傷に関する理学療法について講義を行う。</p>
47	理学療法治療学8－内部障害	2	1	<p>内部障害リハビリテーションに必要な解剖、生理を講義する。</p> <p>代表的な内部障害疾患とその病態について講義する。</p> <p>疾患に応じたリハビリテーションプログラムについて説明する。</p> <p>講義中の重要な単元において、理解度を確認するための確認問題と解説を行う。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する教員が授業を行う。</p>
48	物理療法学	2	1	<p>本講義は理学療法における物理療法の位置づけ、各物理療法についての生理学的作用、適応疾患と禁忌、注意事項について講義する。</p> <p>また、次年度に行われる物理療法実習で実際に各物理療法を行うための基礎的な知識を習得する。なお、本大学病院リハビリテーション部において、理学療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p>
49	客観的臨床能力演習2	2	1	<p>臨床上必要な知識・技術・態度（特に態度）について、講義内容に記された項目について講義・演習する。学生同士の小グループ（模擬患者役、療法士役、実施内容確認役）に分かれ、実技練習および実技試験を実施する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において、理学療法士・作業療法士の実務経験を有する教員が授業を担当し、実務経験を活かし理学療法士・作業療法士が臨床上必要となる臨床技能の知識を説明する。</p>
50	作業療法概論	2	1	<p>1.作業療法の歴史、作業療法の核となる理論を説明する。</p> <p>2.現在、日本国内で実践されている代表的な作業療法について説明する。</p> <p>3.作業療法の事例を説明する。</p> <p>4.障害をおって生きている方の人生について説明する。</p> <p>5.作業療法の歴史に関する課題をE-learningで学習する（ICT活用）</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を担当する。</p>

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 先進理学療法コース・先進作業療法コース

No	科目名称	学年	単位	科目概要
51	表面解剖学(作業療法)	2	1	機能評価の手段として視診、触診の位置づけについて学ぶ。具体的には体表から触れられる骨・筋の基礎的な触察技術を学び、筋の起始停止・神経支配・走行の理解を深める。 なお、本学大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を担当する。 視診、触診と機能解剖を結びつける内容をICTを用いて行う。
52	基礎作業学	2	1	作業・作業活動の分類や意義を理解し、ひととの関わりについて説明する。また、作業を治療に応用するための基礎知識について講義する。さらに、作業療法における作業分析の方法を知り、実際に作業分析を行う。 Moodleを活用した双方向型授業を実施する。 なお、作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。
53	基礎作業学演習	2	1	作業療法士として、対象者にとって重要となる作業を多面的かつ包括的に理解し、適切な臨床推論のもと、適確かつ安全に介入する能力を身につけるために、人の作業について分析する視点と方法、手順力を理解し、作業療法を展開する基礎的臨床思考を、演習を通して学ぶ。 また、学習は協働学習のなかで適切なコミュニケーションをとりながら、自らの思考と他者の思考を統合して考える力を付ける。協働学習で多様な視点を学ぶと共に、国内外の科学情報を活用することで創造性をもって探究し、具体的な解決策を立案・実施する能力を身に着ける。 事前学習、事後学習はICTを用いて提示する。 本学大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を担当する。
54	検査・測定論1(作業療法)	2	1	作業療法における評価・再評価の必要性について講義し、作業療法場面（発達障害・身体障害・精神障害・老年期障害・高次神経障害・職業関連）で用いられる主な評価方法について講義を行う。時に演習を用いることもある。 ICT活用として授業資料配信システムにアップする配布資料に対してタブレット上でメモを書き込み、各自のノートを作成する。 なお、本講義は本学大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を担当する。
55	検査・測定論演習1(作業療法)	2	1	基本的な評価について、主に神経学的検査の方法、判定と意義について学び、将来作業療法士として対象者の状態を正確に把握し、治療計画立案ができることを目指す。 本学大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を担当する。本学大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を活かし、作業療法士に必要な能力を身につけるため、病院・施設等の臨床現場において活用できる実践的な知識・技術について学ぶ。
56	検査・測定論2(作業療法)	2	1	関節可動域測定(ROM)、徒手筋力検査(MMT)、機能形態計測について講義する。検査の目的と検査方法、検査時の注意点を講義し、2年次に開講される検査・測定論実習2のための知識を学習する。本講義では、知識の獲得に必要な資料等をICTを用いて提示し、活用方法についても教示する。なお、本学大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を担当する。
57	検査・測定論演習2(作業療法)	2	1	作業療法に必要な評価項目の中で、関節可動域測定（ROM）、徒手筋力テスト（MMT）、機能形態計測の技術を習得する事を目的として実習を行う。 本演習では、実技の獲得に必要な資料等をICTを用いて提示し、活用方法についても教示する。 なお、本学大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が対面にて授業を担当する。

実務経験教員担当科目一覧

リハビリテーション学科 先進理学療法コース・先進作業療法コース

No	科目名称	学年	単位	科目概要
58	検査・測定論3(作業療法)	2	1	<p>高次脳機能障害のさまざまな病態について講義する。また、その評価方法について学び、得られた結果を日常生活障害に関連づける過程までを習得する。臨床的に使用頻度の高い評価バッテリーについて、具体的な実施方法についての理解を深めるよう説明およびグループワークをする。ICT活用で質問およびフィードバックをする双方向授業をする。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部で作業療法士の実務経験を有する教員が、高次脳機能障害に対して作業療法士が実施する評価法についての授業を行う。</p>
59	日常生活活動学(作業療法)	2	1	<p>日常生活活動(ADL)の概念・評価・動作分析について講義し、グループワークにて演習を行う。さらに、障害別の日常生活の特徴にも触れながら、福祉用具や生活環境について講義する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p>
60	日常生活活動学演習(作業療法)	2	1	<p>日常生活活動(ADL)について、それぞれの活動の特徴を理解する。また、ADLにおける福祉用具・自助具の知識を身につけ、その活用方法を理解する。さらに、グループワークにて自助具を考案・作製することを経験し、その理解を深める。</p> <p>障害者のADLにどのような困難が生じるのか体験するとともに、その問題に対するOT介入の考え方を学び経験する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を行う。</p>
61	作業療法治療学1－中枢1	2	1	<p>脊髄損傷の障害像について講義する。また、脊髄損傷患者に対する作業療法評価を列挙し、問題点、ゴール設定、基本的な作業療法プログラムを解説する。</p> <p>なお、本講義は当大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を行う。</p>
62	作業療法治療学2－中枢2	2	1	<p>脳血管疾患、中枢神経系の病態、障害像、予後について説明し、作業療法での評価と日常生活活動への治療的介入方法について講義・演習する。また基本動作や画像所見、特に上肢の運動障害に対しての治療の考え方、介入の組み立て方について講義・演習する。</p> <p>講義資料は講義資料配信システムにより学生のタブレット端末に配信する。学生の理解度の把握のために、定期的（合計3回）の小テストを実施し、理解度に応じた解説を行う。授業後においても、適宜moodle等の活用により質問を受け付ける。</p> <p>本大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が担当し、実務経験を活かし、作業療法士に必要な能力を身につけるため、病院・施設等の臨床現場において活用できる実践的な知識・技術について学ぶ。</p>
63	作業療法治療学5－整形1	2	1	<p>外傷や炎症性疾患に起因する、手・前腕・上肢の損傷に対するリハビリテーションについて講義する。</p> <p>主な手の外科領域の対象疾患である末梢神経損傷、筋・腱損傷、骨・関節損傷、熱傷、乳癌などに関するリハビリテーションについて講義する。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において作業療法士の実務経験を有する教員が授業を行う。</p>
64	作業療法治療学7－内部障害	2	1	<p>呼吸器疾患、循環器疾患、糖尿病、悪性新生物の基礎知識とリスク管理、訓練プログラムについて学ぶ。</p> <p>疾患による非活動性がもたらす悪循環と心理面や生活の質の悪化について理解を深める。</p> <p>作業療法士に必要な能力を身に付けるため、病院・施設等の臨床現場における、担当症例の検査・測定等の評価及び問題点の抽出、治療プログラムの立案を学ぶ。</p> <p>なお、本大学病院リハビリテーション部において実務経験を有する作業療法士が授業を行う。</p>